

不適合情報

2018年1月18日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全の観点から見たグレード
1	5号機	原子炉建屋原子炉格納容器内で移動中の協力企業作業員が、配管をくぐりながら前進したところ、弁ハンドルに頭部を強打し転倒した。右手にしびれがあることから、救急車にて病院へ搬送。中心性頸髄損傷と診断。当該事象の原因を調査。【2018年1月17日公表済み】 http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/press/pdf/2017/30011701p.pdf	G III 以下

3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	3号機	軽油タンク温度計の点検時、動作不良および測定誤差が管理値を超えていること確認した。当該計器を修理。	
2	6号機	計装用圧縮空気系圧縮機(B)の点検時、駆動用ベルト車の溝に管理値を超える摩耗を確認した。当該ベルト車を修理。	
3	その他	統合原子力防災ネットワーク用衛星系電話・FAXモデム回線の停止を確認した。当該事象の原因を調査。なお、地上系回線は正常。	